

2023 年度「学生支援相談に関する研究会」オンライン開催の結果報告について
2023 年 11 月 6 日

今年度の研究会について、初めて A コース（学生支援）、B コース（学習支援）の 2 つのコースに分けて、10 月 24 日、25 日にオンライン（Zoom）により同一日程で実施しました。全国から約 40 名が参加しました。

A コース（学生支援）

(1) 名古屋大学の安部有紀子准教授から「コロナ禍（後）のピアサポート、ボランティア活動の現状と課題」について、①コロナ禍の学生活動、②ピアサポート、ボランティア活動の状況、③大学教育の変化、④学生の学びを促進するための学生支援へなどについての講義が行われました。各講義の中でグループ別討議及びその成果が発表され、安部准教授からは適切なアドバイスが行われました。

(2) 大正大学の山本繁特命教授から「大学中退予防の実際」について、①大学中退時期ごとの予防策と対応策、②中退危険因子の把握、③中退対策の成功と失敗、④中退予防の基本戦略などについて講義が行われました。「私から始まる中退予防」についてグループ別討議及び各グループワークの成果が発表され、山本特命教授からいくつかのコメントがありました。

(3) 東京海洋大学の服部典子特任准教授から「企業が求める人材とキャリア教育の現状と課題」について、①企業の採用の変化、②大学におけるキャリア教育、③キャリア自律の基盤となるキャリア教育とは等について講義が行われました。またグループワークが行われ、参加者にとっては密度の濃いワークとなった。服部講師からは、学生の課題をアセスメントし、支援を考えていくことは進路選択の支援として有効であるアドバイスが行われました。

B コース（学習支援）

(1) 愛媛大学の中井俊樹教授から「学習支援の意義と組織体制」について、①学習支援の意義、②学生の学習支援のニーズ、③学習支援の指針、④学習支援の評価、⑤学習支援の組織的課題の解決についての講義が行われた。各講義の中でグループ別討議及びその成果が発表され、中井教授からは適切なアドバイスが行われました。

(2) 追手門学院大学の清水栄子准教授からは「面談による学習支援」について、①面談のルール、②他部署につなぐ際の留意点、③面談時の NG 行動、④オンライン面談時の工夫などについて講義が行われた。グループワークでは、具体的な行動計画・準備などの意見を出し合い成果をまとめ、発表が行われました。清水准教授からは適切なコメントが行われました。

(3) 愛媛大学の上月翔太講師からは「学生相互の支援」、「学習支援者の能力開発」について、①学生相互による支援の意義と課題、②学生相互による支援の方法、③支援携わる学生の育成、④学習支援者に求められる能力と倫理、⑤能力開発の方法などについて講義が行われました。また個人ワーク及びグループワークが行われ、上月講師からはいくつかのコメントが行われました。参加者にとっては密度の濃いワークとなりました。

6 講師とも講義のほか、グループワークにより受講者に具体的に考えさせ、他大学との協議を進める中で学生支援の大切さについて理解を深めるとともに、その対応に当たっての留意点など、現場での対応において参考となる研究会になりました。